

JA秋田ふるさと自己改革工程表

JA秋田ふるさととは平成26年度より、組合員との徹底した対話に基づいて、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする創造的自己改革の実践に全力で取り組んできました。

令和4年度からは、組合員との対話に基づく自己改革実践サイクルの取り組みを開始し、重点目標と成果指標・目標値を設定して実践しています。主な取り組みは以下のとおりです。

農業者の所得増大・農業生産の拡大		農業者の売上増加・コスト低減につながる取り組みを実践しています					
直販取引・通信販売サイトを通じた主力品目野菜の販売		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
対象者：農産物生産者		目標	実績	目標	実績	目標	実績
令和9年度	270百万円	250百万円	281百万円 (112.4%)	260百万円	-	270百万円	-
超大型規格農薬の普及拡大を通じたコスト低減		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
対象者：大規模経営体		目標	実績	目標	実績	目標	実績
令和9年度	1,500袋	1,200袋	1,480袋 (123.3%)	1,300袋	-	1,500袋	-
銘柄集約肥料の取扱拡大を通じたコスト低減		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
対象者：必要とする全ての者		目標	実績	目標	実績	目標	実績
令和9年度	30,000袋	27,000袋	21,863袋 (80.9%)	28,000袋	-	30,000袋	-
地域の活性化	地域の基幹産業である「農業」の活性化につながる取り組みを実践しています						
地域農業振興の応援団の拡大（地域の農業振興を応援する意思確認）		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績
令和9年度	新規250人/年	250人	294人 (117.6%)	250人	-	250人	-
経営基盤の確立・強化	JA経営における、安定的な収益性確保につながる取り組みを実践しています						
老朽化施設・遊休不稼働資産の管理方針の明確化		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績
令和9年度	遊休不稼働資産等の処分	処分：2箇所	処分：2箇所 (100%)	処分：2箇所	-	処分：2箇所	-
対話・意思反映	正組合員と准組合員が一体となったJA運営を実現する取り組みを実践しています						
項目	令和7年度計画			令和7年度実績			
組合員アンケート	2回/年			1回 ・1月1,350名宛発送			
支部座談会	2回/年			・1回目…延べ146会場、1,312名出席 ・2回目…延べ158会場、1,262名出席			
常勤役員と正・准組合員との対話	・地区運営委員会2回/年 ・JA運営委員会2回/年 ・各生産部会会議等での対話 ・農業法人,集落営農組織訪問巡回 1回/年			・地区運営委員会2回延べ171名と対話 (うち准組合員8名) ・JA運営委員会2回延べ37名と対話 ・生産部会,協力組織等通常総会および意見交換会にて対話(延べ32組織,延べ882名) ・農業法人,集落営農組織訪問巡回実施 (7月~11月,63法人・12組織)			